

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	教育部学校教育課		■担当係	指導係
■評価事業名称	学力ステップアップ事業			
■事業開始年度	平成22年度			
■評価事業コード	400200 - 102	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	01 学校教育の充実・家庭や地域の教育力の向上		
	■施策	01 知・徳・体を育む		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	小・中学校が連携して児童・生徒の学力向上を図るため、拠点校で少人数指導等を行う。学力向上を図るため、拠点校方式による少人数による指導等を行う。中学校3年生を対象に、中3英語検定3級講座を実施し、英語力の向上と、英語に対する意欲の喚起を図る。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成27年度事業計画	平成27年度事業量実績
01	学力ステップアップ事業	児童・生徒	学習支援員 2名配置 中3を対象に英検講座を実施	学習支援員 2名配置(黒東小・江釣子小) 中3を対象に英検講座を実施

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
直接事業費	1,053	1,050	2,009	2,039	
人件費	79				
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,132	1,050	2,009	2,039	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	指標の説明
01	実施校の標準学力検査の結果	南小学校において平成23年度標準学力検査結果+2ポイント	南小学校において平成24年度標準学力検査結果+2ポイント	黒沢尻東小学校、江釣子小学校において平成25年度標準学力検査結果+2ポイント	黒沢尻東小学校のいて平成26年度標準学力検査結果+5ポイント、江釣子小学校において平成26年度標準学力検査結果+1ポイント、	現状+2

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

学習支援員の配置により、複数の目で児童理解を深めることができた。その成果が学力検査の結果に反映されている。

問題点・課題等

少人数指導を行う単元を設定し、適切な指導形態の在り方を探る必要がある。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了